令和5年6月7日招集

茂原市議会定例会会議録（第5号）

議事日程（第5号）

令和5年6月22日（木）午後1時00分開議

第1 議案並びに請願・陳情の総括審議

第2 発議案第1号の上程説明並びに審議

第3 長生郡市広域市町村圏組合議会議員の
選挙

茂原市議会定例会会議録（第5号）

令和5年6月22日（木）午後1時00分 開議

○議長（中山和夫君） ただいまから本日の会議を開きます。

現在の出席議員は18名であります。したがって、定足数に達し会議は成立しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議長の報告

○議長（中山和夫君） ここで報告します。

今定例会において審査を付託しました案件について、各委員会から審査結果の報告がありましたので、一覧表にしてお手元に配付しました。

以上で報告を終わります。

————— ☆ ————— ☆ —————

議事日程

○議長（中山和夫君） 本日の議事日程は、お手元に配付してありますので、それにより御了承ください。

————— ☆ ————— ☆ —————

議案並びに請願・陳情の総括審議

○議長（中山和夫君） それでは、これより議事日程に基づき議事に入ります。

議事日程第1「議案並びに請願・陳情の総括審議」を議題とします。

まず、今定例会において審査を付託しました案件について、各委員長から審査の経過並びに結果について報告を求めます。

最初に、総務委員会委員長 杉浦康一君から報告を求めます。

（総務委員会委員長 杉浦康一君登壇）

○総務委員会委員長（杉浦康一君） 総務委員会の報告を申し上げます。

本委員会は、今定例会において付託されました報告2件、議案1件について、6月16日に関係職員の出席を求め、慎重に審査をいたしましたので、その審査の経過並びに結果について報告いたします。

初めに、報告第1号「専決処分の承認を求めることについて」申し上げます。

本報告は、地方税法等の一部を改正する法律及び関係政令が令和5年3月31日に公布、4月1日施行に伴い、茂原市税条例の一部を改正する条例の制定について、急施を要するものとし

て、本年3月31日に専決処分をしたことについて承認を求めるものであります。

審査の過程において、質疑応答のなされた主なものを申し上げます。

まず、「固定資産税・都市計画税関係について、該当するマンションの具体的な要件と減額割合3分の1の根拠は」との質疑に対し、「要件については、10戸以上のマンションで築20年以上経過していること、過去に大規模修繕工事を実施していること、市からの助言、指導を受け、大規模修繕工事が可能な水準まで長期修繕計画の見直しを行い、修繕積立金額を引き上げることである。減額割合の根拠については、国の参酌基準に基づき定めている」との答弁がありました。

次に、「軽自動車税関係の燃費・排ガス不正行為の対応について、茂原市での該当状況は」との質疑に対し、「茂原市の納税者における影響は、平成28年の不正行為に係るものがあり、影響台数は188台、金額は50万7600円である」との答弁がありました。

以上の審査経過を踏まえ、採決の結果、報告第1号については、全員異議なく承認することと決定いたしました。

次に、報告第3号「専決処分の承認を求めることについて」申し上げます。

本報告は、国の補助金を活用し、物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、児童1人当たり5万円を給付することについて、予算措置の必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がないことから、令和5年度茂原市一般会計補正予算（第1号）を、本年4月28日に専決処分したことについて承認を求めるものであります。

補正予算の内容は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億609万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ320億9万4000円にしたものであります。

審査の過程において、質疑応答のなされた主なものを申し上げます。

まず、「子育て世帯生活支援特別給付金は申請が必要か。また、申請がない世帯への周知方法は」との質疑に対し、「対象は児童扶養手当を受給している者等となっていることから、申請を待たずに支援する、いわゆる「プッシュ型の支援」として5月29日と30日に給付済みである。家計急変の場合は、様々な基準があることから、個別に対応することになる。周知については、広報や市ウェブサイトにより行っている」との答弁がありました。

次に、「家計急変世帯の申請期限は」との質疑に対し、「申請期限は来年2月29日までである」との答弁がありました。

以上の審査経過を踏まえ、採決の結果、報告第3号については、全員異議なく承認することと決定しました。

次に、議案第1号「令和5年度茂原市一般会計補正予算（第2号）」について申し上げます。

本案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億7639万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ323億7648万4000円にしようとするものであります。

審査の過程において、質疑応答のなされた主なものを申し上げます。

まず、民生費について「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業で3万円とした理由は」との質疑に対し「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の中で、3万円を支給するという方向性が示されているためである」との答弁がありました。

次に、農林水産業費について「用排水施設維持管理費に係る国の実施要領が改正され助成単価が変更になったため補正することだが、当初予算で対応しなかった理由は」との質疑に対し、「国の事業実施要領が令和5年4月1日付で変更となったためである」との答弁がありました。

次に、予備費について「新型コロナウイルスワクチンの接種を実施した医療機関への支払いという理解でよいか」との質疑に対し、「新型コロナウイルスワクチン個別接種に協力する診療所に対する支援で、令和4年度は千葉県が実施していたが、令和5年度からは、市町村が実施することになり、予備費で対応したものである」との答弁がありました。

以上の審査経過を踏まえ、採決の結果、議案第1号については、全員異議なく可決することと決定しました。

以上が、本委員会に付託されました案件の審査経過並びに結果であります。

本会議におかれましても、慎重審議賜りますようお願い申し上げます、報告を終わります。

○議長（中山和夫君） 次に、教育福祉委員会委員長 石毛隆夫君から報告を求めます。

（教育福祉委員会委員長 石毛隆夫君登壇）

○教育福祉委員会委員長（石毛隆夫君） 教育福祉委員会の報告を申し上げます。

本委員会は、今定例会において付託されました報告1件、議案3件、請願2件について、6月16日に関係職員の出席を求め、慎重に審査いたしましたので、その審査経過、並びに結果について報告いたします。

初めに、報告第2号「専決処分の承認を求めることについて」申し上げます。

本報告は、地方税法施行令の一部を改正する政令が本年3月31日に公布され、4月1日から施行されることとなったことに伴い、茂原市国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について、急施を要するものとして、3月31日に専決処分したもので、具体的には、被保険者間の負担の公平性を確保するため、国民健康保険税に係る後期高齢者支援金等課税額

の限度額20万円を22万円に引き上げるとともに、中低所得者層の負担軽減を図るため、均等割及び平等割の5割軽減及び2割軽減の軽減判定所得の基準を引き上げることにそれぞれ所要の改正を行ったものであり、採決の結果、報告第2号については、全員異議なく承認することと決定いたしました。

次に、議案第2号「茂原市保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」申し上げます。

審査の過程において、「改正に伴い、本市において影響はあるのか」との質疑に対し、「特に影響はない」との答弁がありました。

以上の審査経過を踏まえ、採決の結果、報告第2号については、全員異議なく可決することと決定いたしました。

次に、議案第3号「茂原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」申し上げます。

審査の過程において、「本市にとって何か変更等が生じるのか」との質疑に対し、「厚生労働省からこども家庭庁へ国の所掌事務が移管するものであり、本市での変更等は生じない」との答弁がありました。

以上の審査経過を踏まえ、採決の結果、議案第3号については、全員異議なく可決することと決定いたしました。

次に、議案第4号「茂原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」申し上げます。

本案は、こども家庭庁設置による、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する内閣府令の改正に伴い、所要の改正をするものであり、採決の結果、議案第4号については、全員異議なく可決することと決定しました。

次に、請願第1号「国における2024年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願」並びに請願第2号「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採択に関する請願」について申し上げます。

これら2件の請願は、関連があるため、一括して審査を行いました。

審査の過程において、質疑応答のなされた主なものを申し上げます。

まず、「加配教員及び特別支援教育支援員の雇用形態は」との質疑に対し、「加配教員については、正規教員が不足しているのが現状であり、大半を非正規教員の講師に依頼している。また、特別支援教育支援員については、会計年度任用職員として雇用している」との答弁があ

りました。

次に、「総合型地域スポーツクラブとして、緑ヶ丘スポーツクラブが創設されたが、今後、新たな総合型地域スポーツクラブの創設の動きはあるのか。また、部活動の地域移行と、総合型地域スポーツクラブとの関連をどのように考えているのか」との質疑に対し、「総合型地域スポーツクラブは、地域の実情に応じて、地域住民の自主的な運営で創設されるものであるが、資格を持った指導者の発掘や、地域のスポーツ需要をコーディネートする人材の育成が困難なため、思うように進捗していないのが現状である。また、部活動の地域移行により、子どもたちのスポーツ需要の受皿となるという役割が期待されているが、同じ理由で全ての需要を満たすのは困難であると考えている」との答弁がありました。

また、委員より「教職員については教育の基本となるものであり、教職員の待遇改善のためにも、教育予算のさらなる充実、また義務教育費国庫負担制度の堅持は非常に重要である。そのためには、全国から意見書を提出し、多くの要望を伝えていくことが重要であることから、ぜひ採択されたい」との意見がありました。

以上の審査経過を踏まえ、採決の結果、請願第1号並びに請願第2号については、全員異議なく採択することと決定しました。

以上が、本委員会に付託されました案件の審査経過並びに結果であります。

本会議におかれましても、慎重審議賜りますようお願い申し上げます、報告を終わります。

○議長（中山和夫君） 次に、建設経済委員会委員長 小久保ともこ君から報告を求めます。

（建設経済委員会委員長 小久保ともこ君登壇）

○建設経済委員会委員長（小久保ともこ君） 建設経済委員会の報告を申し上げます。

本委員会は、今定例会において付託されました議案1件並びに陳情1件について、6月16日に委員会を開催し、慎重に審査いたしましたので、その審査経過並びに結果について報告いたします。

初めに、議案第5号「契約の締結について」申し上げます。

審査の過程において、質疑応答のなされた主なものを申し上げます。

まず、「今回の落札率は。また、最低制限価格はどのように算出しているのか」との質疑に対し、「落札率は96.9%である。最低制限価格の算出方法については、茂原市建設工事等契約事務取扱実施規程に基づき算出している」との答弁がありました。

次に、「この明治橋架け替え工事の総工事費はどの程度見込んでいるのか。また、財源の内訳は」との質疑に対し、「総工事費は、概ね13億円と見込んでおり、財源の内訳は、総事業費

の50%が県、27.5%が国、残りの22.5%が市の負担である」との答弁がありました。

次に、「公共事業に対して、一般的には、もっと安くできるのではないかという考えがあるが、所管課の公共事業に対する考え方は」との質疑に対し、「品質確保のためにも、千葉県の積算基準を基に算出することが、事業者・発注者としても不利益が生じない価格設定と考える。なお、今回の工事にあたっては、県の設計審査を受けている」との答弁がありました。

以上の審査経過を踏まえ、採決の結果、議案第5号については、全員異議なく可決することと決定しました。

次に、陳情第1号「市道3級2112号線拡幅工事の陳情」について、申し上げます。

審査の過程において、質疑応答のなされた主なものを申し上げます。

まず、「道路幅員が狭いため、トラブルが生じているとのことだが、今までどういったトラブルがあったのか」との質疑に対し、「拡幅要望箇所については、朝は通勤の関係で車の通行が多いことが考えられるが、それ以外の時間帯は交通量も少なく、見通しも利き、待避所もあるため、大きなトラブルというものはないと伺っている」との答弁がありました。

次に、「本納地域には、本納スポーツ広場のほかにドクターヘリの離発着場はあるのか」との質疑に対し、「消防本部に確認したところ、当該地域にはスポーツ広場のほかに、旧本納小学校、旧新治小学校、本納中学校の3か所が、ドクターヘリの離発着場となっている」との答弁がありました。

次に、「優先させなければならない事業というのは、どういった事業であるのか」との質疑に対し、「内水対策関連事業、明治橋架け替えや通学路の安全対策事業など生命・財産を守るということに結びつく事業である」との答弁がありました。

また、委員より「現地を確認したが、交通に大きな支障があるようには思えないので反対である」との意見や「優先的に取り組むべき事業があることは理解できるが、優先事業のめどがつき次第取り組むよう附帯意見をつけ、採択すべきである」との意見がありました。

以上の審査経過を踏まえ、採決の結果、陳情第1号については、賛成少数により不採択とすることと決定しました。

以上が、本委員会に付託されました案件の審査経過並びに結果であります。

本会議におかれましても、慎重審議賜りますようお願い申し上げます、報告を終わります。

○議長（中山和夫君） 以上で、各委員長の報告を終わります。

ただいまの各委員長報告に対する質疑を許します。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ、質疑を終結します。

次に、討論に入ります。ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

なければ、討論を終結します。

これより採決に入ります。

まず、報告について一括採決します。

報告第1号から第3号については、委員長報告のとおり承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。

したがって、報告第1号から第3号はいずれも承認されました。

次に、議案について採決します。

まず、議案第6号「固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて」は、同意することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員と認めます。

したがって、議案第6号は同意されました。

次に、議案第7号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」は、適任と認めることに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員と認めます。

したがって、議案第7号は適任と認めることとされました。

次に、議案第8号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」は、適任と認めることに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員と認めます。

したがって、議案第8号は適任と認めることとされました。

次に、議案第9号「監査委員の選任につき同意を求めることについて」は、同意することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立多数)

起立多数と認めます。

したがいまして、議案第9号は同意されました。

次に、他の議案については一括採決します。

議案第1号から第5号については、委員長報告のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。

したがいまして、議案第1号から第5号については、いずれも原案のとおり可決されました。

次に、請願・陳情について採決します。

今定例会に付議されました案件は請願2件、陳情1件であります。

最初に、陳情第1号「市道3級2112号線拡幅工事の陳情」についてであります。本件に対する委員長報告は不採択であります。

陳情第1号について、願意のとおり採択することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立少数)

起立少数と認めます。

したがいまして、陳情第1号は不採択とすることと決定しました。

次に、請願については一括採決します。

請願第1号から第2号については、委員長報告のとおり採択することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。

したがいまして、請願第1号から第2号については、いずれも採択することと決定しました。

ここで報告します。

本日、石毛隆夫君から、今定例会に提出するため、発議案の送付がありましたので、これを受理し、お手元に配付しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

発議案第1号の上程説明並びに審議

○議長(中山和夫君) それでは次に、議事日程第2「発議案第1号の上程説明並びに審議」を議題とします。

発議案第1号を上程します。

最初に、発議案第1号について、提出者石毛隆夫君から提案理由の説明を求めます。石毛隆夫君議員。

(8番 石毛隆夫君登壇)

○8番（石毛隆夫君） 提出者を代表いたしまして、発議案第1号について、提案理由を申し上げます。

発議案第1号「教育予算の充実及び義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について」であります。本案は、教育が日本の未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるという重要な使命を負っていることから、現行の義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、子どもたちの教育環境の整備を一層進める必要があるため、令和6年度に向けて、教育予算の一層の充実を国に要望すべく、意見書を提出しようとするものであります。

本会議におかれましても、慎重審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明といたします。

○議長（中山和夫君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

次に、質疑に入ります。

発議案第1号について質疑を許します。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ、質疑を終結します。

ここでお諮りします。

ただいま議題となっております発議案第1号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議ないものと認めます。

したがって、委員会付託を省略することと決定しました。

次に、討論に入ります。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ、討論を終結します。

これより採決に入ります。

発議案第1号「教育予算の充実及び義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について」は、原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員と認めます。

したがって、発議案第1号は原案のとおり可決されました。

————— ☆ ————— ☆ —————

長生郡市広域市町村圏組合議会議員の選挙

○議長（中山和夫君） 次に、議事日程第3「長生郡市広域市町村圏組合議会議員の選挙」を行います。

本件は、同組合議会議員として本市議会議員の中から選出する議員の定数に1人欠員が生じていることに伴い、1人を選挙いたそうとするものであります。

お諮りします。

選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定に基づき、指名推選としたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議ないものと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選とすることと決定しました。

続いてお諮りします。

指名の方法については、議長から指名することとしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議ないものと認めます。

したがって、議長から指名することと決定しました。

それでは、長生郡市広域市町村圏組合議会議員に鈴木敏文君を指名します。

お諮りします。

鈴木敏文君を当選人と定めることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議ないものと認めます。

したがって、ただいま指名しました鈴木敏文君が、長生郡市広域市町村圏組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました鈴木敏文君が本議場におられますので、本席から、会議規則第32条第2項の規定により、当選の告知をします。

ここで、しばらく休憩します。

午後1時30分 休憩

————— ☆ ————— ☆ —————

午後2時00分 開議

○副議長（田畑 毅君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ここで報告します。

先ほど休憩中に、議長中山和夫君から議長の辞職願が提出されました。

お諮りします。

この際「議長辞職の件」を議事日程に追加し、直ちに議題としたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。

したがいまして、「議長辞職の件」を議事日程に追加し、議題とすることと決定しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 長 辞 職 の 件

○副議長(田畑 毅君) それでは、まず、その「辞職願」を事務局長に朗読させます。

○事務局長(宮本弘美君) それでは朗読いたします。

令和5年6月22日

茂原市議会副議長 田畑 毅様

茂原市議会議長 中山和夫

辞 職 願

今般、一身上の都合により議長を辞職いたしたいので、許可くださるようお願い出ます。

以上でございます。

○副議長(田畑 毅君) お諮りします。

中山和夫君からの議長の辞職願を許可することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。

したがいまして、中山和夫君の議長の辞職を許可することと決定しました。

ここで、中山和夫君から議長の辞職にあたり、挨拶の申入れがありましたので、これを許します。

(16番 中山和夫君登壇)

○16番(中山和夫君) 議長辞職に伴い、一言御挨拶を申し上げます。

令和3年5月の臨時議会におきまして、議員各位から御推挙いただき、議長に就任いたしました。今、人口減少化、地方分権、高度情報化、さらには国際化等々、時代は大きな変わりを

見せている中、二元代表制の一翼を担う議会の役割は今まで以上に強くなってきております。このような中で、市民に開かれた議会、市長と切磋琢磨する議会、活発に議論ができる議会、市民の声を行政に伝える議会、さらには、政策提案ができる議会、このことを目指して議会運営に取り組んできました。

このような中で、コロナがございましたけども、議員の皆様方、また、田中市長をはじめ執行部の皆さん方には大変な御理解と御協力をいただきまして、何とか円滑な議会運営をすることができましたことに、改めて感謝と御礼を申し上げたいと思います。

結びになりますけども、茂原市のさらなる発展と、議員の皆様、また、田中市長をはじめ執行部の皆さんの御健勝と御活躍を心から御祈念申し上げまして、御礼の挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

○副議長（田畑 毅君） ただいま、中山和夫君が議長を辞職しました。

中山議長におかれましては、現今の厳しい社会経済、財政状況の中、議長という重責を担われ、常に公正で円滑な議会運営に努められ、さらには積極的な議会改革に取り組み、議会の権威と信頼を高められました。その功績は誠に大であります。ここに深く敬意と感謝の意を表します。誠に御苦労さまでした。

ただいま、議長が欠員となりました。

お諮りします。

この際、「議長の選挙」を議事日程に追加し、直ちに選挙を行いたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議ないものと認めます。

したがいまして、「議長の選挙」を議事日程に追加し、直ちに選挙を行うことと決定しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 長 の 選 挙

○副議長（田畑 毅君） 議場の閉鎖を命じます。

（議場閉鎖）

ただいまの出席議員は18名であります。

投票用紙を配付させます。

（投票用紙配付）

投票用紙の配付漏れはありませんか。

(なし)

配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

(投票箱点検)

異状なしと認めます。

念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じて順次投票を行います。

点呼を命じます。

(点呼 投票)

投票漏れはありませんか。

(なし)

投票漏れなしと認めます。投票を終了します。

議場の閉鎖を解きます。

(議場開鎖)

これより開票を行います。

会議規則第31条第2項の規定により、立会人に議席番号1番 御園敏之君、2番 工藤孝弘君の2名を指名します。

両君の立会いをお願いします。壇上までお進みください。

(開 票)

選挙の結果を報告します。

投票総数18票、これは先ほどの出席議員数に符合しています。そのうち、有効投票18票。

無効投票0票。

有効投票中、

金 坂 道 人 君 14票。

中 山 和 夫 君 3票。

平 ゆき子 君 1票。

以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は5票であります。したがって、金坂道人君が議長に当選されま

した。

ただいま議長に当選されました金坂道人君が議場におられますので、本席から、会議規則第32条第2項の規定により、当選の告知をします。

金坂道人君から当選承諾の御挨拶をお願いします。

(15番 金坂道人君登壇)

○15番(金坂道人君) 一言御挨拶を申し上げます。

ただいま茂原市議会議長に御選任いただきまして、心より感謝を申し上げます。

緊張し、責任の重さを今ひしひしと感じているところでございます。私は、議員各位の理解と御支援を得ることを念頭に置き、円滑な議会運営とさらなる議会の発展に努めてまいり所存でございます。

議会と執行部は、共に切磋琢磨して、社会福祉をはじめとした市民生活の向上に努めていくという二元代表制です。茂原市においても、市長としっかりした議論を重ね、市民のための施策を実施していくことが明日の茂原市の発展につながることを確信しております。しかしながら、特に現代社会は変化のスピードが速く、二元代表制のような考えを持って、時にはお互いに協力し事に当たることも必要ではないかと考えます。

本市におきましては、依然と厳しい財政事情ではございますが、活力と魅力あふれ、安全で住みやすいまちづくりを進めていくことが市民の皆様の一一致した願いであるとの認識に立ち、この負託に応えるべく、皆様とともに頑張っていく所存でございます。

どうぞ今後とも議員の皆様のご温かい御支援、御鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げて、就任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○副議長(田畑 毅君) ただいま、新しく議長が選出されましたので、ここで議長と議長席を交代します。

(議長席着席)

○議長(金坂道人君) ここで、しばらく休憩いたします。

午後2時21分 休憩

————— ☆ ————— ☆ —————

午後3時10分 開議

○議長(金坂道人君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

ここで報告します。

水害対策特別委員会副委員長の私、金坂道人が、副委員長辞任願を提出したため、休憩中に

委員会が開かれ、副委員長の辞任が許可されました。

このことから、直ちに副委員長の互選が行われ、副委員長に岡沢与志隆君が選任されましたので、報告いたします。

続いて報告します。

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員中山和夫君が同議会議員を辞職され、千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員が欠員となりました。

お諮りします。

この際「千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙」を議事日程に追加し、直ちに選挙を行いたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。

したがって、「千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙」を議事日程に追加し、直ちに選挙を行うことと決定しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

○議長(金坂道人君) 本件は、本市議会選出の千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員に欠員が生じたため、同連合規約第8条に基づき選挙を行うものであります。

お諮りします。

選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定に基づき、指名推選としたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。

したがって、選挙の方法は指名推選とすることと決定します。

続いてお諮りします。

指名の方法については、議長から指名することとしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。

したがって、議長から指名することと決定しました。

それでは、千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員に、私、金坂道人を指名します。

お諮りします。

ただいまの被指名人をもって当選人と定めることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。

したがいまして、私、金坂道人が千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員に当選しましたので、会議規則第32条第2項の規定により、当選の告知をします。

以上で、今定例会に付議されました案件の審議は全て終了いたしました。

お諮りします。会議録の調製にあたり、字句、数字、その他整理を要するものについては、議長に一任されたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないものと認めます。

したがいまして、そのように決定しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

○本日の会議要綱

1. 議案並びに請願・陳情の総括審議
2. 発議案第1号の上程説明並びに審議
3. 長生郡市広域市町村圏組合議会議員の選挙
4. 議長辞職の件
5. 議長の選挙
6. 千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

○出席議員

議長 中山和夫君

副議長 田畑毅君

1番	御園敏之君	2番	工藤孝弘君
3番	河野英美君	4番	横堀喜一郎君
5番	河野健市君	6番	高山佳久君
8番	石毛隆夫君	9番	岡沢与志隆君
11番	杉浦康一君	12番	小久保ともこ君
15番	金坂道人君	17番	細谷菜穂子君
18番	鈴木敏文君	19番	平ゆき子君
20番	ますだよしお君	22番	常泉健一君

————— ☆ ————— ☆ —————

○欠席議員

14番 山田広宣君

————— ☆ ————— ☆ —————

○出席説明員

市長	田中豊彦君	副市長	豊田正斗君
教育長	内田達也君	理事	鈴木祐一君
総務部長	渡邊正統君	企画財政部長	佐久間尉介君
市民部長	中田喜一郎君	福祉部長	平井仁君
経済環境部長	飯尾克彦君	都市建設部長	渡辺修一君
教育部長	中村一之君	総務部次長 (総務課長事務取扱)	菅谷直博君
企画財政部次長 (企画政策課長事務取扱)	佐久間栄一君	市民部次長 (生活課長事務取扱)	飯島博美君
福祉部次長 (社会福祉課長事務取扱)	鬼島啓太君	経済環境部次長 (農政課長事務取扱)	小高一宏君
都市建設部次長 (土木建設課長事務取扱)	白井高君	都市建設部次長 (建築課長事務取扱)	高橋啓一君
教育部次長 (教育総務課長事務取扱)	白井康史君	職員課長	神馬幹夫君
財政課長	安田博彦君		

————— ☆ ————— ☆ —————

○出席事務局職員

事務局長	宮本弘美
局長補佐	東間一博
議事係長	金綱邦彦

○議長（金坂道人君） これをもちまして、令和5年茂原市議会6月定例会を閉会とします。
長期にわたる御審議、誠に御苦労さまでした。

午後3時14分 閉会

————— ☆ ————— ☆ —————

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和5年8月1日

茂原市議会議長 金 坂 道 人

前茂原市議会議長 中 山 和 夫

茂原市議会副議長 田 畑 毅

茂原市議会議員 河 野 英 美

茂原市議会議員 横 堀 喜 一 郎